

事業所自己評価シート

平成 30 年度

*保護者（ 20/24 回収率 83%）・職員（ 5/5 回収率 100%）

職員による自己評価

A環境面

環境面、体制面含め、適切であると感じる。

環境面においてはその日の状況に合わせ、マットのスペースを広げるといった対応を行っている。

B児童への支援内容

2年目に入り、昨年度より話し合い、情報交換の内容も濃くなり、それを支援に活かすことができているが、今後もしっかりと情報交換を行い、よりよい支援に取り組んでいきたい。

交流に関しては、夏季休暇を利用し他事業所との交流を図ることができた。今後も継続していけるようにしたい。また図書館や近隣の公園などに出る機会を設け、地域の人との交流も図っていけるようにしたい。

C関係機関との連携

関係者会議への参加を中心にしながら他機関との連携を図っている。また学校へのお迎え時などに他事業所の職員と情報交換を行うようにしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

個別支援計画の更新時の面談、年度末の「つながり会」（御家族との交流会）を通して、ご家族と連携を図っている。

また送迎時のご家族と情報交換の場を大切にしている。

E非常対応

全ての曜日にて避難訓練を実施。活動の予定表にも明記しているが周知されていない。

また緊急時の対応に関しては、ご家族に対して十分に説明できていないのが現状である。再度緊急時対応のマニュアルを見直し、ご家族に周知していけるようにしたい。

保護者による評価

A環境面

環境、体制整備共にほぼ「はい」の評価をいただいている。

B児童への支援内容

支援に関しては全ての方から「はい」の評価を頂いている。

交流に関しては8割の方から「どちらともいえない」「交流が持っていない」との回答があった。

C事業所からの情報発信

8割以上の方から評価をいただいている。ホームページも毎月更新し、更新されるとご家族にお知らせを出している効果だと思われる。

D保護者への説明責任、信頼関係

おおむね良い評価のため、今後も面談などを通してご家族と話をする機会を持っていく。

E非常対応

ほとんど評価をいただけていない。



事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面、体制面に関しては評価できる
- ・放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもとの交流の機会が少ないが、他事業所との交流に関しては、評価をいただいている。
- ・ご家族との連携に関しては、面談やつなぐ会（御家族との交流会）に関しては、ある程度の評価をいただいている。今後は送迎時のご家族との情報交換の場も大切にしながら連携を図りたい。
- ・緊急時の対応に関してはほとんど伝えることができていない

【相違点】

- ・保護者と職員が感じていることに関しての相違点はあまり見られない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

固定化されない活動のプログラムを作り、楽しく過ごせ、次回は何をするのだろうと期待を持てる事業所運営。また同建物内にある和音（生活介護事業所）と合同の活動などを実施している。また夏季においては他事業所との連携も図っている。

広いスペース、適正な職員配置をすることで、安全な環境を作ることができる。

ホームページ（毎月更新）により、普段の連絡帳だけではやりとりできない部分を伝えることができる。

事業所の改善点

- ・緊急時の対応に関して、十分な説明ができていない。また防災訓練の周知も出来ていない。
- ・地域との交流が少ない。
- ・御家族と面談やご家族との交流会を実施しているが、まだまだ情報交換の場が不足している。

事業所の改善への取り組み

- ・緊急時の対応に関して、防災訓練の周知、もう一度緊急時のマニュアルを見直し、ご家族に周知していきたい。
- ・御家族との面談の場を大切に、ご家族の困りごとや悩んでいることをしっかり聞き取るなど面談の質を上げていけるようにする。
- ・年度末に開催する「つなぐ会」（御家族との交流会）を継続していき、ご家族と職員、またご家族同士の交流が図れるようにしていく。
- ・現状に満足することなく、日々進歩させ、魅力ある事業所作りをしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所の運営に関しては、2年目ということもあり、だいぶ定着してきたように感じる。今後も現状に満足することなく、日々進歩していけるようにしていきたい。

課題にある、ご家族に寄り添った支援、緊急時の対応に取り組み、よりよい事業運営につなげていけるようにしたい。

事業所名 社会福祉法人 十愛療育会 たっちいずみの

担当者 小林 勇介